

結婚式の引き出物、引き菓子もインターネットで選ぶ時代に 「ブライダルギフトオンライン」の導入、利用が進む

～利用カップルが4ヵ月で100組を突破。こだわりのギフトを探すカップルが活用～

ブライダルギフトの企画販売、情報サイトを運営する株式会社ウィーブ（所在地：大阪府北区、代表：安田真悟）は、結婚式場と提携してインターネットでこだわりのブライダルギフトを挙式カップルに提案する「ブライダルギフトオンライン」を8月1日よりスタートしましたが、スタート4ヵ月で購入カップルが100組を越え順調に利用が増えています。

「参加者が驚くギフト」「地元のこだわりの名品」など引き出物や引き菓子にこだわる挙式カップルが増えていることを受けて、ブライダルギフトオンラインでは、希少性やサプライズ性の高いギフトだけを集め、そのこだわりを写真や文章でわかりやすく説明しています。

当サービスはスタート4ヵ月で、「梅田スカイビル」「京都センチュリーホテル」「ハイアットリージェンシー大阪」「ホテルグランヴィア大阪」「京都全日空ホテル」など38ヵ所の結婚式場で導入され、提携ギフトメーカーも90社を突破しました。（12月10日現在）



モダンで使いやすい漆器の引き出物だから、ゲストを選びません。

上質な器をイメージしたとき、目に浮かぶのは深い漆黒と光沢の漆器ではないでしょうか。漆器は昔から作られている伝統工芸品ですが、どうしても「高級で手が出ないもの」というイメージがありました。しかし、そんなイメージを「普段の生活で使いたい」という気持ちから、オリジナルデザインを生み出したメーカーがあります。デザインから製造まで自分達の手元で作ることこだわった「atakaya」をクラウドアップして紹介します。



有田 真悟（左） 安田 真悟（右）

カップルと式場双方のメリットを実感

先行導入した「梅田スカイビル」によると、結婚式に多く出席した人ほど、共通の知人に同じ結婚式を見せたくないとの思いが強く、引き出物にもこだわりとストーリーが求められると言います。

普段忙しい人でも自宅でゆっくりとブライダルギフトを選び、インターネットを通じて両親にも選んだ商品を見てもらえることで引き出物・引き菓子の打ち合わせがスムーズにいくなどカップルと式場双方のメリットを実感しているそうです。引き菓子に迷うカップルが多いため、式場のプランナーが引き菓子を試食する機会があればもっと勧めやすくなるとの声もいただきました。

ウィーブではこうした先行導入式場の要望を積極的に取り入れるとともに、取扱アイテムやコンテンツを充実させることで導入を促進し、平成22年3月迄に100会場の導入を目指しています。



本件に関するメディアからのお問い合わせ先
 株式会社ウィーブ 広報担当 安田真悟
 大阪府大阪市北区中崎2丁目1-4 アクリスビル4F
 TEL：06-6375-8601 FAX：06-6375-8602
<http://www.weve.co.jp>（会社HP） <http://www.bridalgift-online.jp>（サービスHP）

参考資料

■株式会社ウィーブについて

『「感動と笑顔のある」ビジネスの創造』を企業理念に
 お客様の「感動と笑顔」を視点とした「商品・サービス」を提供し、慣習にとらわれない
 ビジネスを創造することで「幸福感のある社会づくり」への貢献目指しています。

■ブライダルギフトオンラインのフロー



システム管理(ギフトDB、顧客DB、挙式会場DB)と人的管理(ギフトコンシェルジュ、BGOオペレーター)を
 融合した質の高い業務管理フローを確立する事で、独自性の高いオンラインシステムを実現します

■ブライダルギフトについての意識調査

